

# はにい

## 大きな一歩

平成26年1月23日



今日は、年1回のスクールバディサミット。  
各校で、いじめ防止のためにボランティアとして活動しているスクールバディが集まって、活動報告会やランチパーティー、そしてワークショップを行う日です。  
今日は県外のスクールバディも参加しています。

スクールバディたちは、バディルームで悩みの相談を受ける他に、ポスター作り、文化祭でのロールプレイや映画の製作、スピーチなどでいじめの防止について発信する活動をしています。

今日は、各校の活動の中から多様な取組が紹介されました。手作りのショートムービーに感動してハンカチを取り出す大人の姿もありました。

ある市の調査によると、継続してスクールバディに取り組んでいる学校では、いじめの件数の増減よりも、いじめに対する意識の高まりが顕著に現れているそうです。

今日は、県内から初参加の学校もありました。その学校でスクールバディになったばかりの生徒のスピーチから、そのラストを紹介します。

「・・・いじめは、次々と鎖のように繋がってしまう。では、この鎖を切ることができるのは誰か。

国は、いじめ防止対策推進法という法律を作った。そのことにより、学校では先生が、家では親が、今まで以上に見守ってくれることになるだろう。

でも、いじめは子どもの世界で起きている。私たち子どもが何も変わらずにいじめをなくすことはできるだろうか。

— (中略) — そうやって、小さな行動を起こしていくことが、自分を本当の意味で強くする。そういう風に自分の足でしっかり立っている人にしか本当の友達はできない。

だからこそ私は、スクールバディになり、いじめられている人を支えたい。そして、自分自身も強くなりたい。私は、小さいけれど、大きな一歩を踏み出した。

ご清聴ありがとうございました」



『はにい』は、コミュニケーションツールです。みんなで語り合しましょう。  
専用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp